

▼笑顔でプレーをする築森さん(中央)



昭和57年に誕生して以来、グラウンド・ゴルフ愛好者は全国で約300万人といわれています。築森さんもその一人。「ホールポストを立てるだけでできる。ルールも簡単。審判は皆で判断しながら行うので、人との距離が非常に近いスポーツですよ」そう話すところ、築森さんが普段プレーしている由宇町のグラウンドで

ねんりんピックという大会をご存知ですか？
正式には全国健康福祉祭といい、高齢者の健康増進や社会参加を図ることを目的に26年前から毎年開催されています。高齢者のスポーツ・文化・福祉の祭典ともいえるこの大会の、来年の開催地は山口県。ソフトボールやサッカー、将棋など25の種目が県内各地で

開催される中、岩国市で行われる競技は『グラウンド・ゴルフ』です。
「ぜひとも成功裏に終わらせたいね」そう話すのは山口県グラウンド・ゴルフ協会の会長を務める築森さん。県外への視察やリハーサルなど、大会運営の準備に東奔西走する日々です。
『誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもできる生涯スポーツ』として

昭和57年に誕生して以来、全国各地で行われる大会に競技者としても参加して入賞やホールインワンを達成するなど、その活躍は競技の普及や運営だけにとどまりません。グラウンド・ゴルフに幅広く関わる築森さんには、さまざまな目標があります。「まず、ねんりんピックを盛大に開催すること。そのために今準備を一生懸命やっています。競技も体力が続く限り続けたいね。そして競技人口が減らないように、いろいろな人に声を掛けながらこれからもしっかりと活動をしていきたいです」

は、和気あいあいと、はつらつプレーを楽しむ皆さんの姿がありました。ゴルフ歴も約40年という築森さんは「大自然に囲まれて思いっきりスイングするゴルフもいいが、グラウンド・ゴルフは地域に密着しているのがいい」と、気軽に大勢でできるこのスポーツならではの良さを語ります。

毎月のように、全国各地で行われる



▲ゴルフでホールインワン、グラウンド・ゴルフでダイヤモンド賞を達成



▲平日は毎日皆さんの活気にぎわう由宇グラウンド



これが私の 生涯スポーツ

Vol.66

築森 正さん
(由宇町在住)

山口県グラウンド・ゴルフ協会の会長を務める。2015年に山口県で開催されるねんりんピックに向けて準備の指揮を執る傍ら、自らも競技者として数々の大会に出場している。

